

# [ 目 次 ]

2002・2

		ページ
SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	チャンドラで捉えた星の産声	坪井陽子 77
	ガンマ線バーストと火の玉	小林史歩 84
EUREKA 〈研究紹介〉	天体アウトフローの磁気流体加速は実際に起っている —動経磁場構造モデルがもたらした停滞と混迷の打破—	岡本 功 92
	インドネシアの天文学と日伊交流について	小暮智一 104
天球儀 〈読物〉		
年会	春季天文学会宿泊のご案内	109
シリーズ	《海外研究室事情(26)》 <b>Department of Astrophysical Sciences, Princeton University</b> プリンストン大学天体物理学教室	小松英一郎 110
雑報	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書	植田稔也 112
	日本天文学会 早川幸男基金による渡航報告書	高橋弘充 113
月報日より		114

## [ 表紙説明 ]

上：チャンドラ衛星で撮像したオリオントラペジウム領域。千個以上の若い星 (T Tauri 型星・原始星) が捉えられた。

下：チャンドラ衛星で撮像したへびつかい座暗黒星雲のX線カラー写真 (中央)，および各ソースの光度曲線 (周辺)<sup>10)</sup>。カラー写真ではエネルギー2 keV 以下の軟X線は赤，2 keV 以上の硬X線は青で色づけしてある。青いX線源の多くは Class I 原始星であり，赤い成分が吸収を受け青い成分だけが検出されている。70%のClass I 原始星が検出され，各々が激しいX線フレアを起こしていた。

(SKYLIGHT『チャンドラで捉えた星の産声』参照)